

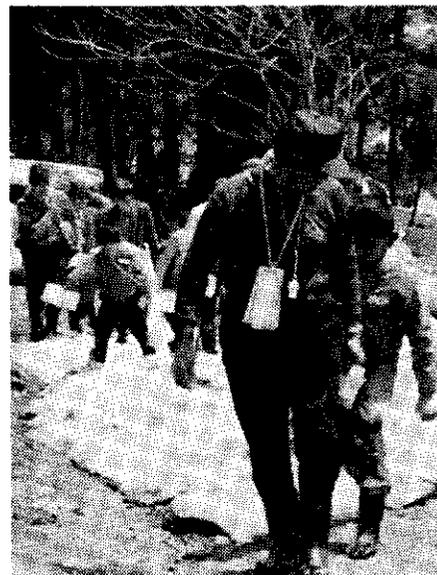
広報 まっぴい

昭和51年 5月10日発行
 第198号
 新潟県松代町公民館
 電話7-2301番
 印刷・松代印刷所

自然の中で「遊び・学ぶ」 松代山岳スポーツ少年団発足



写真 ↓
 発団式終了後
 残雪をふんで
 少林寺山にのぼる



↑写真
 総合センターで
 発団式

に公募いたしました。
 本年度の実施活動は、
 ・日本スポーツ少年団歌の練習
 ・活動の場所となる自然歩道の整備
 ・植物の調査・名札つけ
 ・基礎訓練……結索法
 ・城の山登山……山内マラソン・
 地図の読み方
 ・探鳥会に参加
 ・登山講習……登山の知識とマナー・合唱
 ・急救法訓練……外傷の手当・食
 中毒の手当
 ・松茸山登山（日帰り）
 ・手旗信号・笛によるモールス信
 号等実技
 ・キャンプ講習……テントの張り
 方・飯盒炊事実習
 ・キャンプファイヤ……儀式の指
 導
 ・オリエンテーリング
 ・スポーツテスト・山岳映画の鑑
 賞
 ・合唱・レクリエーション・スキ
 ーツアー（主に冬期）
 このようなことが予定されてい
 ます。

百円：保険金額三百万円、三百万
 円は最高額で傷害の程度で異なる）
 に加入しています。
 「スポーツ少年団ができたことを
 知らなかった」というご家庭はな
 いでしょうか。また、大字松代で
 なくても参加できる近い部落の少
 年も歓迎いたします。
 申込は
 5月31日までに
 町総合センターへ
 次のことが必要です。

- ①氏名 ②生年月日 ③学年
- ④血液型 ⑤保護者名 ⑥住所
- ⑦電話番号
- ⑧金四百円（団費百円＋保険料
 三百円）

4月18日「松代山岳スポーツ少年
 年団」が発足、29日に第一回の活
 動が行なわれました。

松代山岳スポーツ少年団とは、
 次代を担う青少年の健やかな成長
 を願い、恵まれた自然の中でスポ
 ーツ活動を通して心身を鍛え、明
 るく、強く、たくましい少年の育
 成を目的に、毎月二回程度少林寺
 裏山を主体にして、スポーツ活動
 ・学習文化活動・レクリエーショ
 ン活動等を実施するものです。

その活動の推進は、発起人万羽
 卓司氏を団長に有志の皆さんのご
 協力を得て行ない、団員は大字松
 代の小学校四年以上の男子を対象

活動は主に、土曜日の午後学習
 塾に関係のない時間と日曜日に行
 なわれることになっています。
 また、万一の事故に備えてスポ
 ーツ安全協会傷害保険（保険料三



(1)

保健衛生関係

町民の幸せはまず健康から、どんなに良い施策が行われても、早死にしたり、病気で寝込んでしまったのでは、その恩恵を受けることはできません。健康こそは、人間幸福の根本であると思います。従来もこの理念に基づいて保健衛生行政を進めてきましたが特に本年度は、町民の健康管理方式の基礎作りを行ない、成人病予防、母子保健等に積極的に取り組む考えであります。

健康管理台帳整備

町民の保健対策を総合的に推進するため、本年度は町民の健康管理台帳を整備して、健康管理システムを確立します。

成人病予防

死亡率、罹患率ともに一位、二位、三位を占めている、脳卒中、ガン、心臓病のいわゆる成人病について、循環器検診、胃検診、子宮ガン検診を実施し、この結果に基づき事後指導を強化するなど、「検診と指導」「食生活の改善」「知識の普及」を二本の柱として成人病予防対策を積極的に推進します。

母子保健

母子保健の理念である、健康な子を生み、健康に育ててもらうため、婚前学級、新婚学級、育児学級等各種学級を開催して知識の普及につとめ、又妊婦検診、乳、幼児検診等各種検診を実施して病気の早期発見につとめ、訪問指導を強化するなど、母と子について一貫した保健指導と援助を行ないます。

貧血予防

婦人の貧血が非常に多く、婦人の健康のみならず、妊娠、分娩、出生児に及ぼす影響の大きいことを考え、貧血検査の実施と指導に

よる婦人の貧血対策を講じます。

虫歯予防

中学生の虫歯の罹患率が九四パーセントと、ほとんどの児童が虫歯にかかっている現状であり、歯痛による食欲の減少、偏食等、発育や健康に及ぼす影響が大きいので、保育園児、小・中学生に対しフッソ洗口による虫歯予防対策を実施する。

寄生虫予防

地域によって差がありますが、寄生虫卵の保有率が依然として高い地域があるので、健康に及ぼす影響を考え、検便の実施、有卵者に対し駆虫薬の配付をするなど、これが撲滅対策を講じます。

血液型検査

事故、災害、急患等、緊急輸血に対応できる態勢を整えるため、

逐次血液型検査を実施して、町民の健康管理台帳にこれを記録して救急にそなえます。(2)

伝染病予防

最近伝染病の発生を見ないのは予防接種の普及によるところが非常に大きいものと考えられます。百日ぜき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎、インフルエンザなど法律にもとづくものばかりでなく、他のものについても、今後とも一層予防接種の強化をはかります。

結核対策

昔に比較して非常に減ってはいるものの、最近が高令者の結核が増加しているので、ツベルクリン注射、BCG接種、間接撮影、精密検診、訪問指導の強化等、これが対策も手をゆるめることなく推進します。



新潟県青年海外派遣団員募集

青年に広く海外の実情を視察研修させ、青年の国際的視野を広めるとともに、訪問国の青年と交流を行い、国際協力の精神を涵養し青年に日本の姿を正しく理解させ次代をになう中堅青年の育成に資することを目的に新潟県が派遣する一般団員の候補者を次により募集します。

- 一、派遣地域 オセアニア(オーストラリア、ニュージールランド)
- 二、派遣時期 昭和五十一年十月中十日間の予定
- 三、応募年齢 昭和二五年十月二日

- 四、派遣経費 個人負担十万円、その他の事前研修、状行会、報告会等の経費は個人負担となる。

団員として派遣中に生じた負傷疾病、死亡その他の事故等に対する災害補償はないものとする。

五、選考方法 申込み者について町長が県知事に推薦し、県において一次、二次の選考があります。

六、申込み 昭和五十一年六月十五日までに次の書類を役場へ提出して下さい。

- (1) 申込書
 - (2) 勤務先所属長等の応募承諾書 (自営業は除く)
 - (3) 履歴書
 - (4) 身上調査書
 - (5) 健康診断書
 - (6) 戸籍抄本等
 - (7) 作文
 - (8) 写真
- 用紙は役場に有ります。
- くわしいことを知りたい方は、役場社会福祉係へ連絡して下さい。

忙しい時こそ健康に注意を

出稼者の方々も帰られて、日毎に多忙を極める時期となりました。忙しいとつい日常生活や食事について、注意がおろそかになり、医師への受診もしなくなり、服薬も忘れ勝ちの人が多くなります。忙しい時ほど、健康に関心を持ち、休養と食事に一層の注意をして、農繁期を元気で過すように心掛けましょう。

出稼者検診、循環器検診で二次検診を受けられた方は、必ず定期検診を受け、医師の指示を守って下さい。

チエのある成人病対策

むかし、ローマの詩人セネカという人は、こう言いました。「人はすべて天寿をまっとうするのではない、自殺しているのだ」と、節度のない生活、仕事のむり、緊張した社会関係、そのほか、いろいろのことが重なり合って、臓器や血管を老化の方へおすすすめ、ついには死に追いやっているという意味です。

全部の人がこうだとは言えないでしょうが、多くの人にこの言葉があてはまるのではないのでしょうか。成人病を防ぐ第一は、まず節度ある生活をするということです。血圧が高いとどうなってしまうか。

もし、血圧が高いのに治療しなかったり、してもいい加減な薬の飲み方をしていると脳卒中、心筋硬塞、腎硬化など、とり返しのつかない病気を起こします。

高血圧は、あなたの寿命を、ちぢめる危険信号です

■日常生活の注意

一、薬について

○自分勝手に飲んだり、やめたりすることは害になります。○のむのを忘れたからといって、二回分をまとめてのむのは危険です。

○薬をのんでいるからといって生活上の注意を守らないのは大変間違いです。

○主治医からの指示で正しくのと血圧が上手に下って、心臓の負担や血管のいたみも少くなります。

二、成人病にかからないための食生活

○塩分を少くする

日本人は普通一日に二十グラムの塩をとっているといわれています。短期間で長い間の習慣を変えることは難しいですが、塩をとることに命が引きかえであることを肝に命じて頂きたいものです。

○主食中心から副食中心の食事へ

ごはんの食べ過ぎは肥ります。ごはんには糖質が多く、その糖質は体内で脂肪としてたくわえられます。ごはんがいけないと言つて、その分パンやめん類を多くたべては何んにもなりません、蛋白質、ビタミン、無機質の多いおかずをふやしていただきたいものです。

三、検診で早期発見を

少くとも、年一回は検診を受け少しでも異常が発見されたら定期的に医者にかかって、早期に治療を始めて下さい。

二十代、三十代の異常なしと言われた人も日常生活に注意し高血圧の予防をしましょう。

自衛官募集中

陸に！ 海に！ 空に！

一段とアップした待遇
好きな技術を身につけられる

○応募資格

採用予定月の一日現在十八才以上二十五才未満の男女

○志願手続

志願票の請求及び提出先は、役場、自衛隊新潟地方連絡部、同出張所

○試験日

地方連絡部から応募者に直接通知いたします。

戸籍の窓口から

四月受付分(受付順)

ごけつこん
おめでと



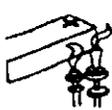
八木正志・室岡直子 松代松栄館
柳 衛・小海ももよ 犬伏 久保
鈴木重文・鈴木明美 松代月日屋
柳孝一・山本つや子 松代ますや
桔梗栄吉・山岸ミチ子 太平

おたんじょう
おめでと



松沢理恵 父啓太郎 長女 儀明新屋
母より子
関谷 彰 父修 長男 蒲生あきんど
母和子
室岡秀貴 父茂男 長男 仙納隠居
母久美子
仲村竜太 父岩雄 長男 儀明竹根
母千代子
宮沢真由美 父広一郎 二女 下山
母英子
藤田和久 父久 長男 松代県営住宅
母純子
高橋久美 父道久 長女 蒔平正えん
母恵美子
五十嵐里美 父富夫 二女 竹所となり
母シゲ

おくやみ
(死亡)



柳 直治 八一才 犬伏 ジンド
小島栄吉 六四才 犬伏 角屋
秋山キノ 七三才 清水 佐恵吉
中村倉蔵 四七才 田代 庄ぜん
志賀満寿蔵 五七才 松代かじ屋
室岡マサヲ 八二才 蒲生 桜屋
村山ソヤ 八三才 室野 若松屋

今年も町総合センターの調理室において調理教室を開きます。今年の子定は次のとおりで、会員募集中です。

会場の都合で定員がありますので早目に申込ください。申込先は、

今年も調理教室を開きます

町公民館

電話 七一三〇一 へ

部落・氏名・出席希望(番号)を

講師 笹川裕子女史

佐藤敏子女史

時間 午前9時30分～午後1時

仲間づくり・学習の場として、次の計画で松代中央青年学級を開設いたします。

少人数で青年活動ができない部落の青年のみなさん、自由参加です。おさそいあつてご参加ください。

時間と会場については、その都度公民館に問合せください。

電話 ⑦-2301 へ

あなたも参加を 町中央青年学級

- 第1回 5月12日
 - ・青年活動について考える。
- ①部落の青年活動状況について話し合う。
- ②青年のサークル活動の映画を見て話し合う。
- 第2回 5月26日
 - ・交歓会打合せ
- 第3回 6月上旬
 - ・松之山町青年との交歓会
- 第4回 6月24日
 - ・スポーツ教室その一
 - ①野球のルール
 - ②練習方法
- 第5回 7月14日
 - ・キャンプ打合せ
- 第6回 7月下旬
 - ・キャンプ実施 経費自己負担
- 2回実施・コース未定
- 第7回 8月12日
 - ・部落行事について考える
- 第8回 9月8日
 - ・地域社会を見つめて
 - 松代町を、自分の将来を考える……映画をみて、農村の青年の生き方を通し、それぞれ

- ① 5月12日：手づくりのおやつNo1
- ② 7月14日：かん詰に手を加えて
- ③ 8月11日：お盆料理
- ④ 10月13日：自家野菜の利用
- ⑤ 11月10日：保存食品のいろいろ
- ⑥ 12月8日：クリスマスケーキの

つくり方

⑦ 12月22日：お正月料理と手軽な

酒のさかな

⑧ 1月12日：暖かいなべ料理

⑨ 2月9日：手づくりのおやつNo2

⑩ 3月9日：家族で楽しめるすしの地域社会で何をなすべきか考える。

第9回 9月22日
・スポーツ教室その二
バレーボールの練習方法

第10回 10月13日
・餅つき大会打合せ

第11回 10月20日
・餅つき大会

ウスとキネでつき、その餅を試食する。

第12回 11月10日
・レコード・コンサート

高校時代などの思い出を語り合い、音楽を鑑賞。

第13回 11月24日
・レクリエーション

クリスマスやお正月に役立つゲームやフォークダンスを。

第14回 12月8日
・年賀状の書き方

くふうをこらした年賀状のつくり方

第15回 12月22日 反省会

郵便局からのお知らせ

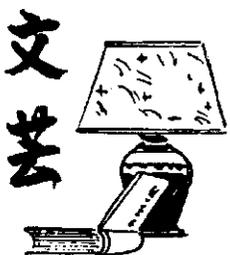
替の手続きはお済みでしょうか

お確かめください、あなたの定期貯金証書

ただいま郵便局では、昭和四十九年九月二十三日以前にお預けになった定期貯金のお利息が有利になる手続き(替の手続き)をお取り扱いしています。手続きは簡単です。定期貯金証書をお近くの郵便局の窓口へお持ちいただければ、郵便局では、貯金証書に「替」の表示をいたします。

このお取扱いは、昭和五十二年一月十三日までとなっておりますので、お手もとの定期貯金証書をお確かめのうえ、まだお済みでない場合は、おついでの折にでもこの手続きをお済ませください。くわしいことは郵便局の窓口にお問合せください。

松代郵便局



文芸

蒲生と五月

清水 朴子

春風にむせかえる蒲生高原に野鳥の声がひびきはじめるとあちこち 雪の山毛櫨林はもえ黄緑のヴェールをひるがえしこぶし 山椿の花々におうあざやかさ

山里の春をかみしめ人恋いながらの朝 散策をはじめ

村の男たち 遠い出稼の旅からもどり

山猫柳が手をふって招いている道の辺の雑草の芽もつんつん葡いだし

おそい春のやさしい使者でもあるように老人 女 童児 安堵の瞳かくしきれない

春の 山ざくらはうす桃色にかの若芽は印象的に 鮮明になる蒲生と五月の風情は育ち 実らせ